

13. AutoUtl使用方法

13 - 1 . 画像設定

1. スタートメニューのAutoUtl1を起動して 画像設定をクリックして仕入車両の一覧画面画面を表示して下さい。

(メニュー画面)



2. AutoVendで登録した仕入車両の一覧画面から画像設定したい車両を選択して下さい。

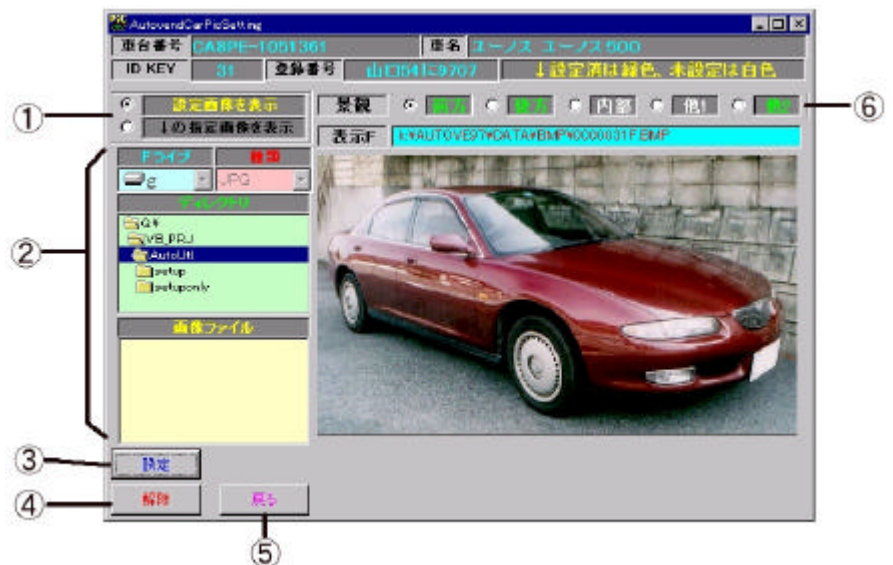
(仕入車両一覧画面)



3. 選択した車両の情報が下図の様に表示されます。

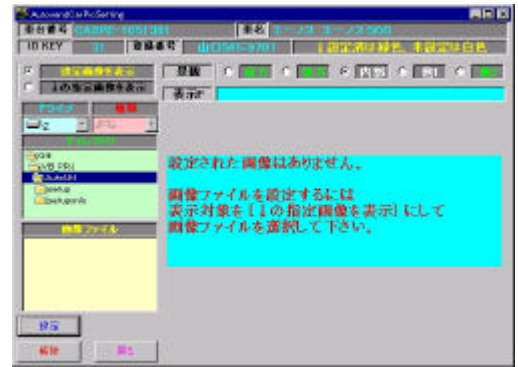
(画像設定画面)

表示モード切替
設定済画像を表示するか、
任意の場所の画像を表示する
かを切替えます。
任意の場所の画像を表示する
場合にドライブ、画像種類、
ディレクトリ、ファイル
を指定します。
任意の場所の画像を表示して
いる時に画像を表示車両の
景観に設定します。
設定済画像を表示している
時に設定済画像を取消し
ます。
仕入車両一覧画面に戻り
ます。
景観を切替えます。設定
済みの景観は緑色、未設定
の景観は白色で、表示され
ます。

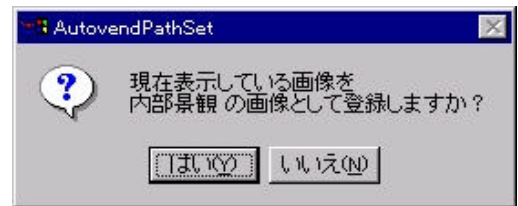


3 - 1 . 未設定景観に画像を登録

- a . 未設定の景観を登録するには設定したい景観をクリックします。
未設定の景観を表示すると右図のようになります。
- b . 表示モード を [の指定画像を表示] にします。
- c . 取り込みたい画像のドライブ、種類（不明の場合は [全部] にして下さい。）、ディレクトリ、ファイルを指定します。
- d . 指定したファイルが対応画像ファイルであれば右図のように画像が表示されます。
表示された画像が設定したい画像であれば設定 をクリックして下さい。
違う場合はc . に戻して下さい。



- e . 設定 をクリックすると右図の様な確認画面が出ますので、登録する場合は、[はい] をクリックして下さい。



3 - 2 . 設定済景観を別画像に変更

- a . 設定変更したい景観ををクリックして下さい。
- b . 表示モード を [の指定画像を表示] にします。
- c . 取り込みたい画像のドライブ、種類（不明の場合は [全部] にして下さい。）、ディレクトリ、ファイルを指定します。
- d . 指定したファイルが正しい画像であれば設定 をクリックして下さい。
違う場合はc . に戻して下さい。
- e . 設定 をクリックすると右図の様な確認画面が出ますので、変更登録する場合は、[はい] をクリックして下さい。



3 - 3 . 設定済景観を取消し

- a . 設定取消したい景観ををクリックして下さい。
- b . 解除 をクリックして下さい。
- c . 右図の様な確認画面が出ますので、登録を取り消す場合は、[はい] をクリックして下さい。



注意

- ・設定した画像は autovend¥data¥bmp に仕入車両の ID_KEY + 記号 の名称で登録されます。記号の意味は F:前方 B:後方 I:内部 X:その他1 Y:その他2 です。
- ・3 - 3 で設定済景観を取消しても autovend¥data¥bmp 内のデータは残っていますが AutoVend の仕入車両メンテで仕入車両を削除したり売上済車両移動を行った場合は同時に autovend¥data¥bmp 内の画像データも削除されます。
- ・景観のその他1、その他2のコメントは AutoVend の仕入車両メンテの写真表示画面で行えます。
- ・取込画像は事前にデジタルカメラ、スキャナー等で Jpeg、Gif、Bmp のいずれかの画像ファイルにしてFD等にセットしておいて下さい。

13 - 2 . データ保守

(メニュー画面)

- 1 . スタートメニューの AutoUtl を起動して データ保守をクリックしてデータメンテナンス画面を表示して下さい。



(データメンテナンス画面)

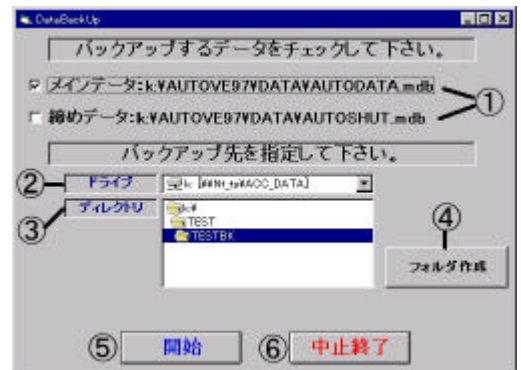
- 2 . データバックアップ

- 2 - 1 データバックアップをクリックしてバックアップ画面を表示します。



(バックアップ画面)

- 2 - 2 バックアップするデータファイルをチェックします。バックアップ先のドライブを指定します。バックアップ先のディレクトリ (フォルダ) を指定します。ディレクトリ (フォルダ) を新規に作成します。バックアップを開始します。バックアップせずに終了します。



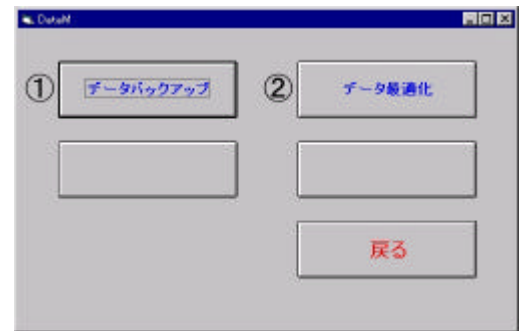
注意

- ・バックアップ先はバックアップするデータファイルサイズ以上の空き容量が必要です。
- ・バックアップ先のドライブをデータの入っているドライブにした場合はハードディスクのトラブル発生時にデータとバックアップデータ共に復旧できなくなる恐れがあります。バックアップ先のドライブはデータの入っていないドライブを選択して下さい。
- ・バックアップ装置としてはMOドライブが適しています。

(データメンテナンス画面)

3. データ最適化

データ最適化をクリックするとデータの最適化が始まります。



データ最適化

データベースのデータ変更を繰り返すと、そのデータベース ファイルに断片化が発生し、必要以上にディスク領域を使用する可能性があります。

定期的にデータファイルを最適化してください。

通常、最適化を実行すると、データベースのサイズは小さくなり、速度も向上も期待できます。

注意

最適化を行うにはハードディスクに最適化を行う対象ファイルサイズの3倍程度の空き容量が必要です。

1 3 - 3 . 環境設定

(メニュー画面)

1. スタートメニューのAutoUtlを起動して 環境設定をクリックしてAutoVend環境設定ツール画面を表示して下さい。



(AutoVend 環境設定ツール画面)

2. プログラムインストール先の AutoVend.mde
データファイルインストール先の
Autodata.mdb を指定します。

注意

システムをインストールした直後に設定し、その後は設定する必要は通常ありません。

